

例えば宇仁小学校の建設であれば少なくとも大企業の入るPF事業という考え方があつたから、地域の企業が参加して、本当に地域に合った低コストの学校はつくれないか、地域の皆さんも参加してできないかという発想も必要ではないか。私は、多様な学校が地域に残されるべきだと思つて。お金がない、学校が多いということでは答えを出すのはやめてほしい。教育がどうあるべきか、地域にとって教育現場、学校というものはどういう価値があるのか、それは地域によつても思いが違ふ。地域の答えがそれぞれに出ていくような時間と論議を与えてほしいと心からお願ひをしたい。

**答** 問題にすべきは建て替え費用です。これが300億円で、いまから20年、30年したら必ず来ます、しかも矢継ぎ早に。それにどう対応していくかもぜひ考えに入れていただきたい。11校という議論をやつていく限りは大きな加西の重荷になり、必然的にこういう状態になつておられるとお考えになりませんか。幼稚園、保育所、社会教育施設を抱えながら、いまの加

西の実力に合わない施設経営を、教育委員会が中心になつてやらされていくわけです。教育行政を預かる者としては、格差が圧倒的にあるような状態を放置するのではなく、どの学校に行つても採光もよく、アメニティに優れている学校を、数少なくして集中的に資金を入れていくような発想をぜひしていただきたいと考えます。

### 職員の年末年始手当について

小谷安富 議員

**問** 職員が年末年始にクリーンセンター等で業務を行つたときの手当はどのようになつているのか。例規集にはこの手当は書いていないが、そのような手当を今まで出してきたのか。平成20年についてはどうするか。

**答** 対象は病院、クリーンセンター、斎場、消防、その他急遽出ないといけない場合等で、年末年始に市役所の職員が休暇に入つていますが、その人たちは働いており、その分の手当という趣旨だと思います。一般職の職員の給与に関する条例第23条に、12月29日から翌年

の1月3日までの間の勤務時間、市長が別に定める額を加算することができるという記述があり、金額についてはその都度決裁を受けて支出してまいりましたが、幾ら市長の権限で払うことができるかと規定にあつても、中身が見えないので、もし払うのであれば条例化しないといけないでしょうし、もともとそういう職種は、折り返み済みの仕事という分は出ており、それにプラスでということなので、ゼロでお願いしたいという回答をしています。ただ病院については今後の地方公営企業法全部適用の話もあり、病院サイドに任せるということになっています。市民の皆さんからいただく税金が不透明な支払いにならないように、今後指導を強化したいと思つています。

### 建設問題について

西川正一 議員

**問** 畑町から下若井町の林道、小谷町から下若井町の市道において、自衛隊の後方支援をいただいで拡張することはどうか。

**答** 林道の整備については、防衛省が周辺整備の自治体を支援する多くの補助事業があり、近年は防衛施設周辺整備の障害防止事業、民生安定の施設整備事業を活用しています。その他に自衛隊の施設部隊の技術上の訓練の一環として、道路整備等の外部工事があり、自治体の要請が防衛省で採択されれば実施となります。いずれにしても、地元の土地の所有者の同意も必要で、工事の必要性も今後担当部署と協議して進めたいと思つています。

古法華自然公園の善防中学校側から登る観光道路の改修はどうなつているのか。  
鶉野飛行場の国からの払い下げは、現在どうなつているか。  
林道の整備については、防衛省が周辺整備の自治体を支援する多くの補助事業があり、近年は防衛施設周辺整備の障害防止事業、民生安定の施設整備事業を活用しています。その他に自衛隊の施設部隊の技術上の訓練の一環として、道路整備等の外部工事があり、自治体の要請が防衛省で採択されれば実施となります。いずれにしても、地元の土地の所有者の同意も必要で、工事の必要性も今後担当部署と協議して進めたいと思つています。



古法華自然公園の道路は、かなりの急勾配、急カーブとなつており、車両の通行がどうにかできる程度の状況です。自然公園の管理方法、利用方法について今後検討をしていく必要があるれば、公園全体の利用計画の再検討、それに基つて再整備が必要になつてきますので、道路計画についても、公園全体の将来計画を再検討する中で位置づけ

ていく必要があるかと考えており、地元のご意見、公園利用者のニーズをもとに、今後の管理方針を踏まえながら取り組む必要があると考えています。

鶉野の飛行場跡地の近況は、東洋大学から21年2月ごろにフォーラムを開催し、最終の報告を受けることになつていきます。それと平行して鶉野上、南、中の3町で協議会を立ち上げ、県のアドバイザー派遣事業を活用し、飛行場周辺のまちづくりのための勉強会を予定しており、早ければ21年1月より開催したいと考えています。